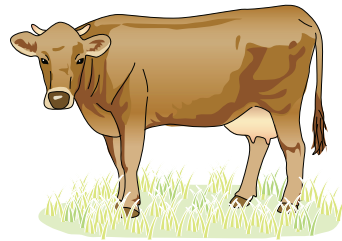


ウシ

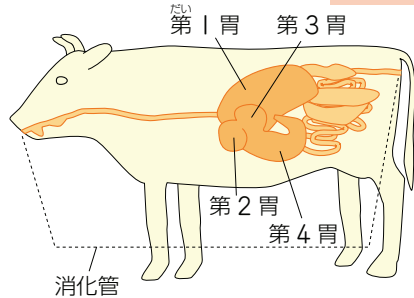


ウシは、草原などにすみ(15)を食べるからだの大きな動物です。ウシには肉や乳を食用とするために人間によってたくさん飼育されている種類もあります。

ウシは(16)なので(17)が長く、体長の(18)ほどもあります。ウシの胃は(19)に分かれています。一度胃に送られた食べものを口にもどしてかみ直し、再び胃に送る(20)を行います。



ウシの消化と吸収



- ①食べた草が口でだ液と混ぜる。
- ②第1胃で微生物により発酵される。
- ③第2胃から口へもどされ、かみ直される。
- ④第1胃、第2胃を通して第3胃へ送られ、水分が吸収される。
- ⑤第4胃で胃液が出される。
- ⑥小腸で養分が吸収される。

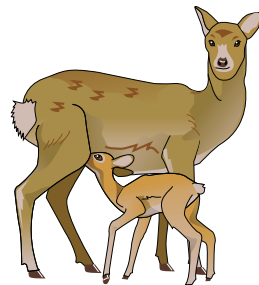
シカ



シカのなかまは、森林などにすみ(21)などを食べます。(22)なので長い(23)をもちます。

多くの種類のシカは、成長したおすに(24)が生えます。

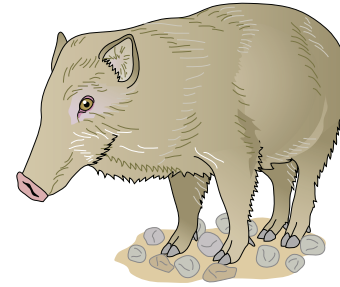
シカは(25)、冬の間も活動します。



イノシシ



イノシシのなかまは、草原や森林にすみ(26)、(27)などいろいろなものを食べる(28)です。



+プラスワン

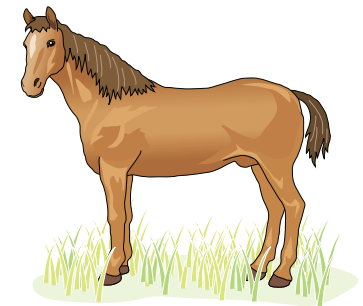
イノシシが品種改良され、家畜となったのがブタです。ブタは肉を食用とするために人間によってたくさん飼育されています。

ウマ

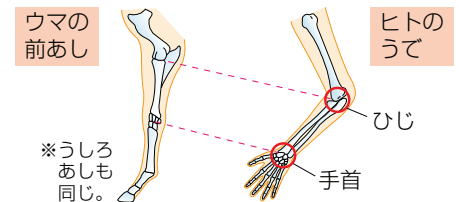


ウマのなかまは、力があって走るのも速いため、昔から人間を乗せたり、荷物を運んだりする動物として人間に飼育されてきました。

ウマは、(29)などを食べる(30)です。(31)の長さは体長の(32)ほどもあります。



ウマの前あしの先は、ヒトの中指に当たる(33)できています。



+プラスワン

ウマやウシ、シカ、イノシシの足の先は「ひづめ」といわれる厚いつめでできています。

ウマのひづめ



ウシのひづめ

